

第39回中央委員会

## 春闘方針6000円を決定

個別賃金要求 30歳27万

高卒直入到達目標 35歳31万

## 村田きょうこ氏は立憲民主党所属に

基幹労連・神田委員長があいさつで表明

安河内会長の音頭で春闘勝利  
村田きょうこ必勝団結ガンバリ



JAMは1月18日第39回中央委員会を開催し、2022年春季生活闘争方針を決定した。

賃金要求は構造維持分を確保した上で「人への投資」として6,000円を基準とする。全単組が到達すべき水準として、高卒直入者所定内賃金の30歳27万円、35歳31万円個別賃金要求を重視する。平均賃上げ要求は、引き上げ額を10,500円以上（構造維持分4,500円＋賃金改善6,000円）とし、未組織労働者も含めた春闘相場の波及をめざす。

一時金要求は年間5カ月基準とし、半期2.5カ月。最低到達基準は年間4カ月、半期2カ月とする。

統一要求日は2月22日（火）、統一回答指定日を3月15日（火）・16日（水）とする。

議案は「2022年春季生活闘争方針に関する件」、「2022年度予算の修正に関する件」、「2022・2023年度役員候補者選考委員会の設置に関する件」、「第24回定期大会開催に関する

件」の4本と、「第26回参議院議員選挙必勝に向けた特別決議」をそれぞれ満場一致で確認された。

来賓には、連合会長として初めてJAM中央委員会に出席した芳野友子会長、JCM・金属労協から金子晃浩議長、基幹労連の神田健一中央執行委員長、JAM準組織内議員の森本真治参議院議員から激励のあいさつを受けた。

## 村田きょうこ氏は立憲民主党所属に

来賓あいさつで基幹労連の神田健一中央執行委員長は「7月の参議院議員選挙候補予定者である『村田きょうこ』氏は『立憲民主党に所属する』」と表明した。

